

2024年2月9日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

株式会社フードプラス・ホールディングスに共同投資を実行

ニューホライズン キャピタル株式会社（本社 東京都港区、代表取締役 安東 泰志、以下「NHC」）が管理運営する、ニューホライズン 4号投資事業有限責任組合（以下併せて「弊社」）は本日、NCB キャピタル株式会社（本社 福岡県福岡市、代表取締役 井上 一成、以下「NCBC」）が管理運営する NCB 九州活性化 3号投資事業有限責任組合と共同で、株式会社フードプラス・ホールディングス（本社 福岡県福岡市、代表取締役 小澤 俊治、以下「FPH」）への投資を実行いたしましたのでお知らせします。

FPH 及び子会社である株式会社庄屋フードシステム（本社 福岡県福岡市、代表取締役 小澤 俊治、以下「SFS」、FPH と併せて「対象会社グループ」）は、1971年の創業以来、九州エリアを中心に和食レストラン事業を運営しています。和食レストラン「庄屋」や定食屋「百菜 旬」をはじめとしたブランドを展開し、九州エリアの和食チェーンとしてトップクラスの知名度を有しています。また、近年は揚げたての天ぷらを提供する新業態の「那かむら」を確立し、新規出店による事業拡大を継続しています。

和食はユネスコ無形文化遺産にも登録され、国際的に広く認知されています。対象会社グループは和食チェーンの運営を通じて、地域の和食文化の承継及び浸透に貢献しているだけでなく、地元食材の利用推進、物流の効率化、カット野菜の導入による食品ロスの削減など環境負荷軽減にも努めています。長崎の小さな町で一軒の食堂として生まれてから今日まで、和食のこころと技でお客様に美味しい料理と団欒の時間を提供するとともに、「持続可能な開発目標（SDGs）」の推進にも大きく貢献しています。このような企業への投資は、弊社の責任投資原則（ESG ポリシー）や「意義ある投資で新たな地平へ」という弊社の Purpose にも合致するものと考えております。

なお、新しい経営体制として、小澤俊治氏が代表取締役を続投するとともに、NHC 及び NCBC から取締役及び監査役数名を派遣いたします。

ニューホライズンキャピタル株式会社について

2002年2月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から、2006年10月の会社分割を経て、通算20年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額2,700億円超）を誇る。現在は、NHCとして6本目、創業から10本目のファンドを運営中。2002年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとするNHCのチームメンバーは、フェニックス・キャピタルにおいて、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ等、また、ニューホライズン1号から4号ファンドにおいても多数の投資を実行し、ハウステック、シバウラ防災製作所、昭和コーポレーション、NITTO/平世美装等、開示可能なエクイティー投資先だけで約50社、全体では100社超の日本随一の投資実績を有する。

この件に関する問い合わせ先（弊社広報担当）：

インターナショナル・ファイナンシャル・コンサルティング株式会社

竹江、高杉 連絡先：03-5532-8921